

兒こ雷らい也や豪傑こうせつ譚たん
 上の卷うわのまき上じやう篇へん



へ13
 3878
 19

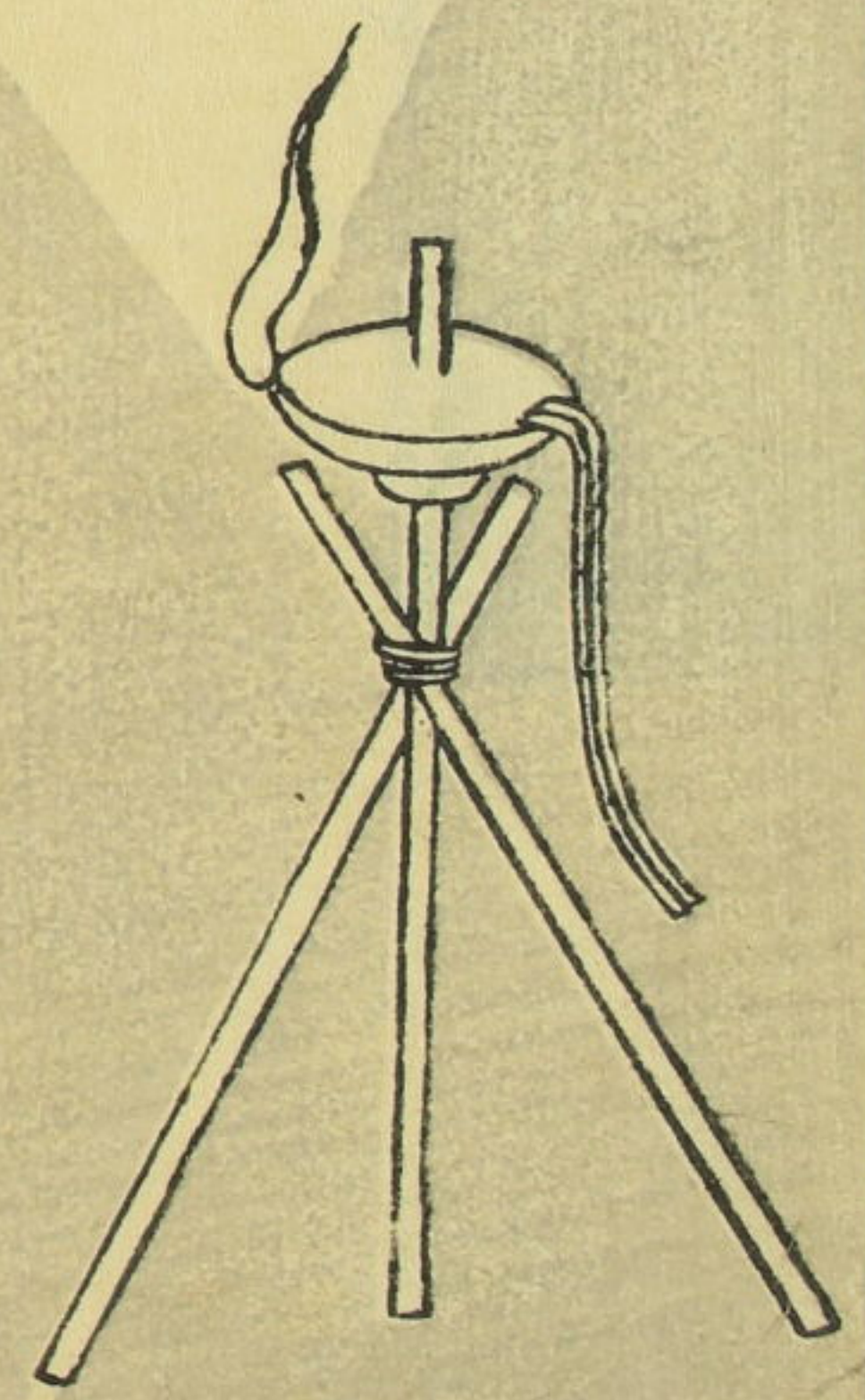


門へ13
3878
19

兒雷也
豪傑譚

上卷

一壽多画
柙の亭作



泉市棒

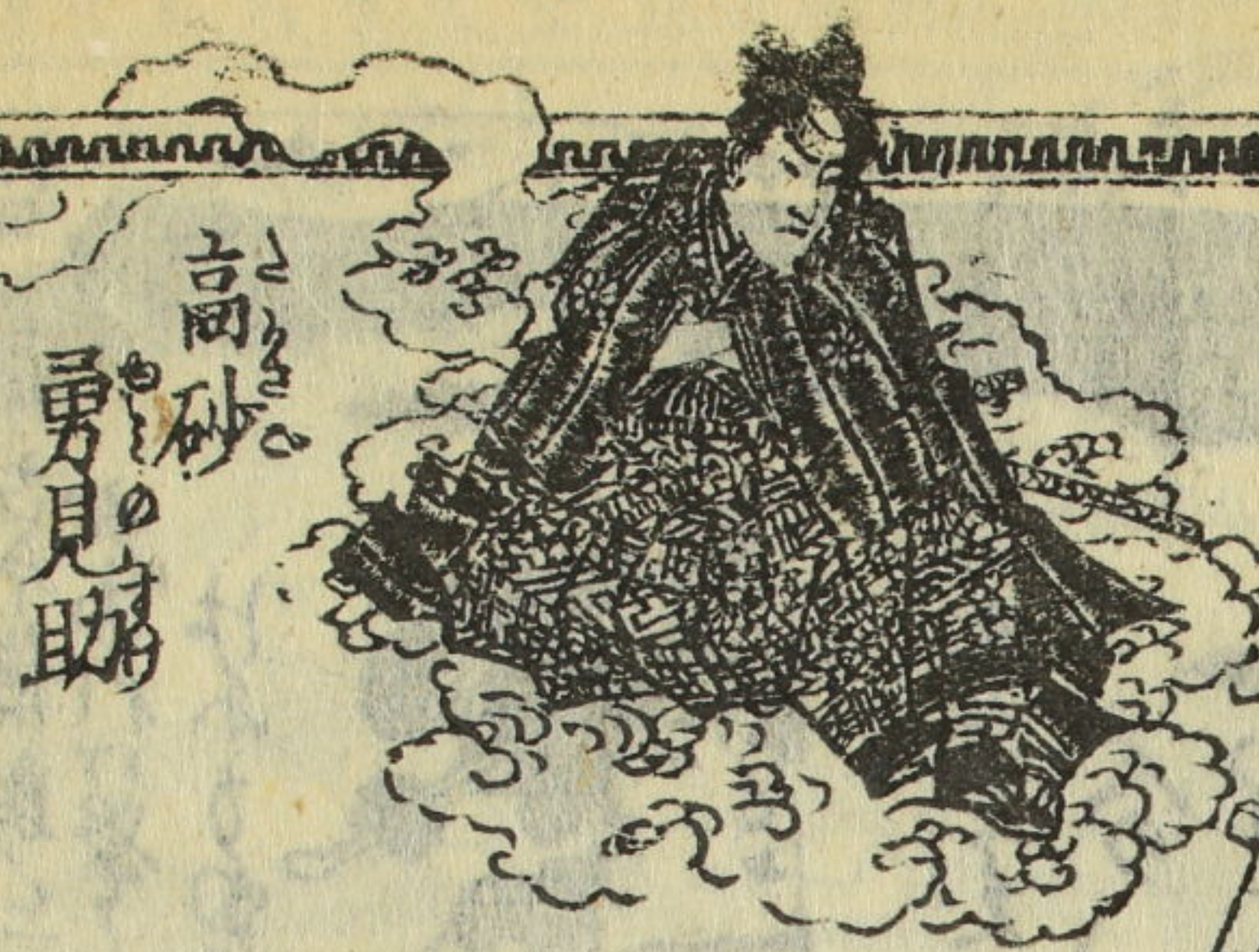


怪力乱神聖の語に妖怪変化奇異の言有無と論ど云ふは
幽冥の物出沒非常の聖人の言する所然れども天地造化の不測
怪異なる事無あらず是を禍福吉凶の禎祥採天の誠ゆるり
云々其餘狐狸の所爲るは怪む足る衆人斯の知るは恐怖物
必着て妖孽と憎む人情の惑ひのそ和漢往昔仙術妖魔の
奇怪と傳へて有と云ふ佛説ふ地獄極楽有と云ふ誇不粗似
う夏の虚実の世置置の兒雷也の譚も幼童見の目と悦は勧善懲
惡の徴を示し果敢る冊子の趣向るも時好懐いて世評喝
采年々不嗣出せ遺豪も絶て腹稿の儲も従来るれも販元
の需不應とてさや斯や書目續一第十篇の草稿と今年も
魁小梓の初春新版の
一筆芥奔主人誌



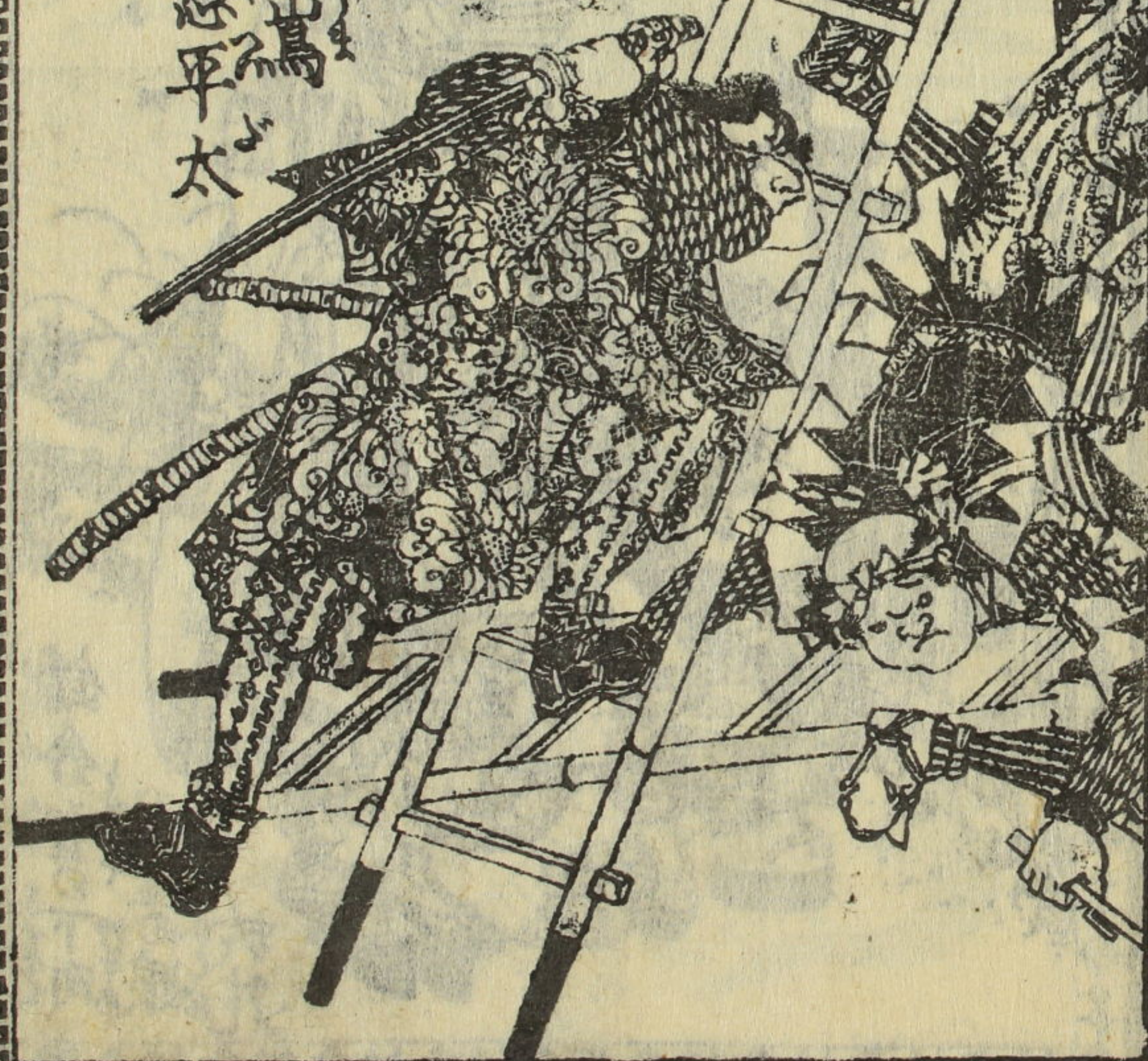
見番也十



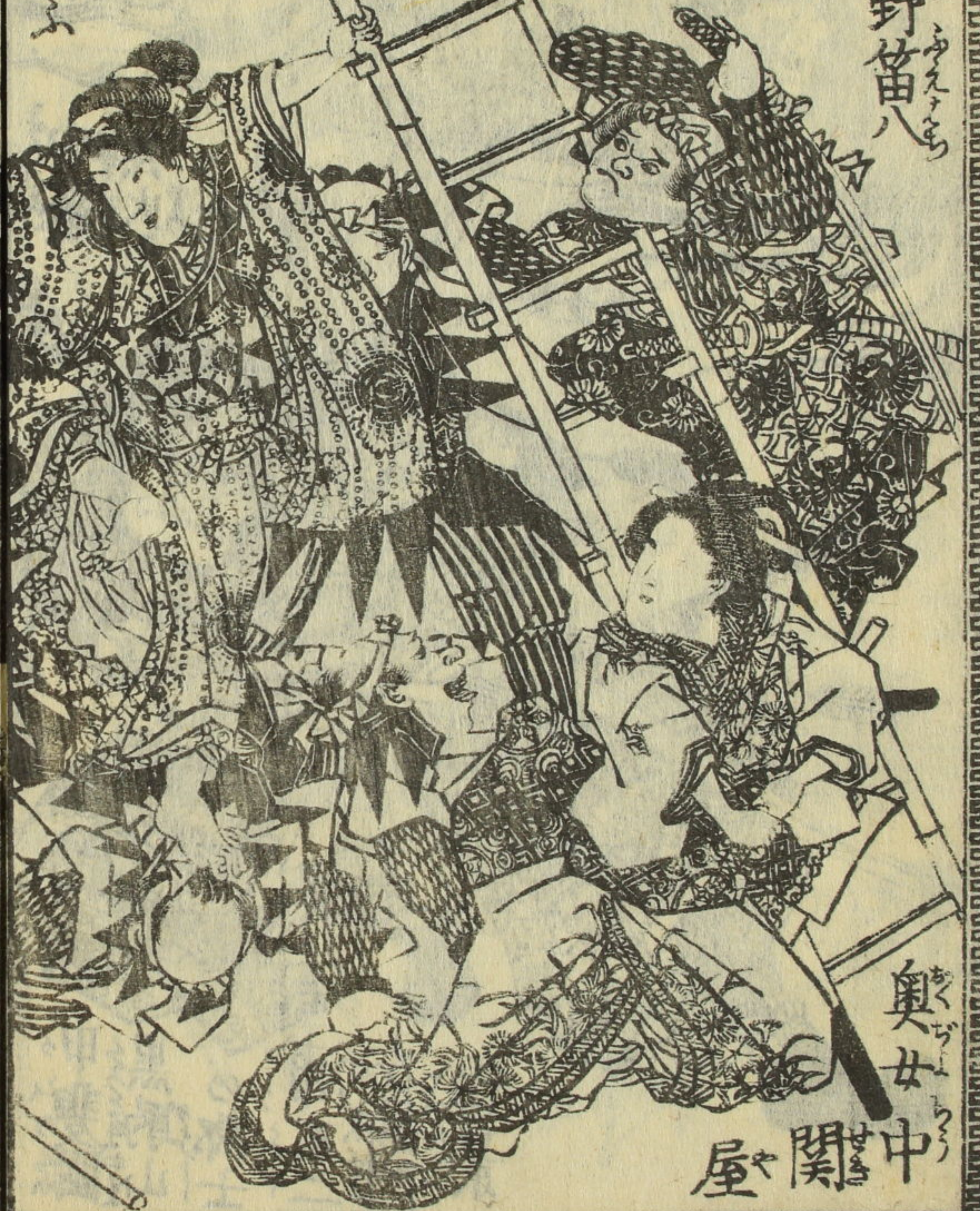


高砂
勇見助

横山
愚平太



戦屋
関屋
救ふ
多勢
怪力
奥女
田舎
鹿野
八



奥女
中
屋

号ま世のいかに地はホんる地ろ
 号ま世のいかに地はホんる地ろ



仙
 人
 蟾
 蜍

越
 中
 國
 木
 の
 謙
 里
 の
 小
 娘
 の
 仙
 女
 と
 換
 る



胸
 と
 刺
 して
 蟾
 蜍
 の
 毒
 異
 性
 を
 以
 て
 見
 雷
 也
 と
 恨
 む
 怪
 邪
 の
 愛
 情
 不
 道
 也
 得
 脱
 消
 除
 念
 ま
 ず
 不

見
 雷
 也
 と
 恨
 む
 怪
 邪
 の
 愛
 情
 不
 道
 也
 得
 脱
 消
 除
 念
 ま
 ず
 不
 思
 い
 を
 焦
 り
 嘆
 又



あ
 の
 花
 の
 娘

古
 今
 集
 三
 花
 の
 娘
 は
 小
 娘
 の
 娘

鎌
 倉
 雪
 の
 下
 冊
 刀
 屋
 の
 娘
 於
 花



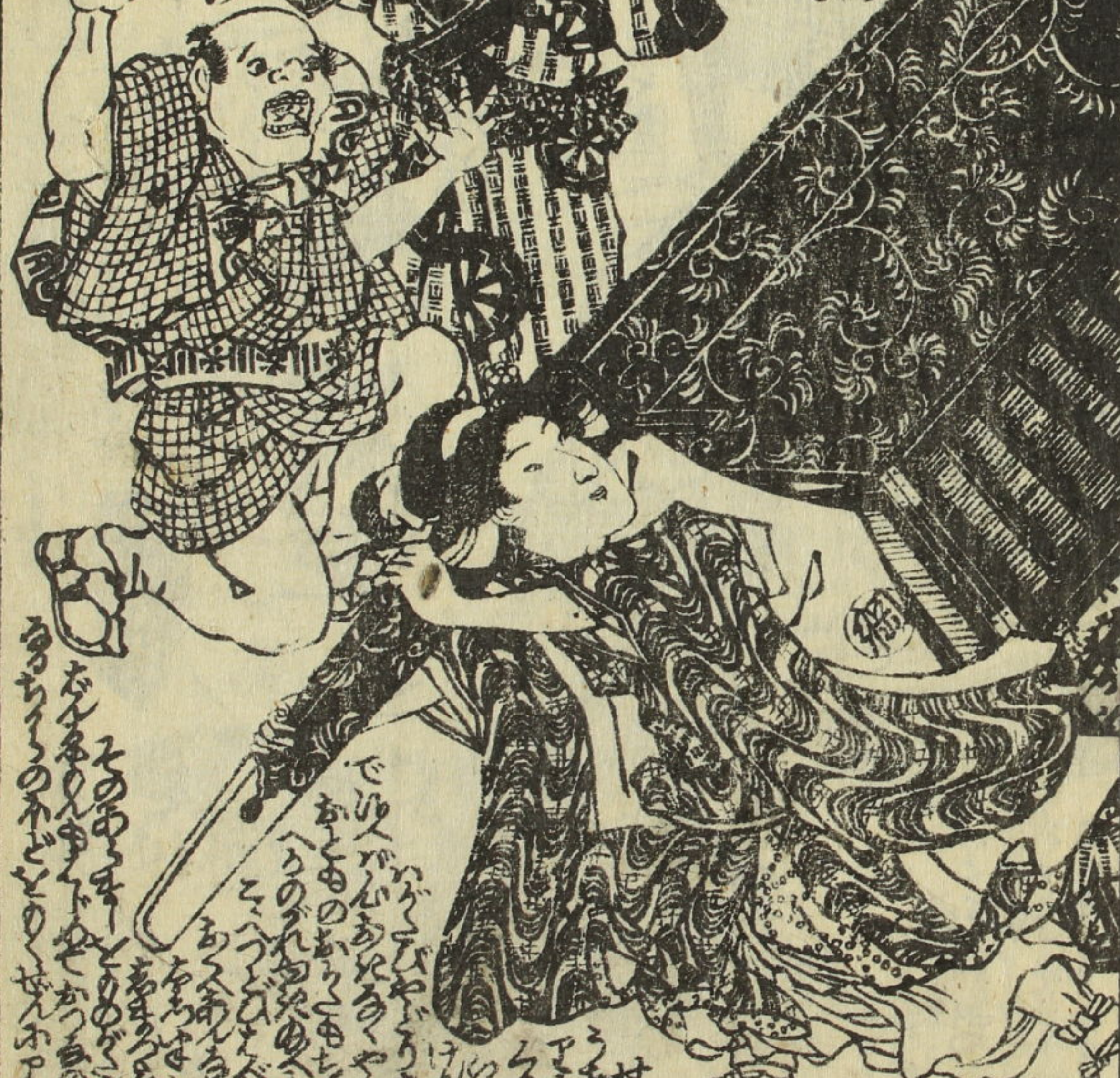
目

この世の中は... 江戸の町は... 賑やかな町... 江戸の町は... 賑やかな町... 江戸の町は... 賑やかな町...

江戸の町は... 賑やかな町... 江戸の町は... 賑やかな町... 江戸の町は... 賑やかな町...



この世の中は... 江戸の町は... 賑やかな町... 江戸の町は... 賑やかな町... 江戸の町は... 賑やかな町...



この世の中は... 江戸の町は... 賑やかな町... 江戸の町は... 賑やかな町... 江戸の町は... 賑やかな町...



入地獄
 谷之
 入地獄
 谷之
 入地獄
 谷之

血の地獄

世の中
 世の中
 世の中
 世の中



越中立山

修羅道

非業の刃不係之修羅の苦
 とる心者あつた勇力を
 たのしむる成佛得脱と討て恨
 めんと血の...

豊國画笑顔作



一 兎雷也豪傑譚

四拾七篇

一 休草紙

拾五篇

一 凡俗淺間嶽

拾四篇

一 黄金永大盡盃

拾七篇

書肆
地本 問屋

芝神明前
和泉屋
市兵衛

銀座四丁目
同 支店

